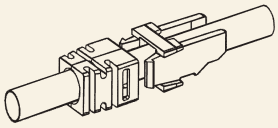
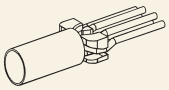
SP6X88　成端方法

1. ストレインブーツとカラーをあらかじめケーブルに通しておきます。

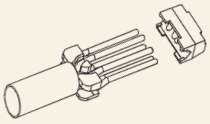


2. ディバイダーをケーブルの切り口に差し込みます。

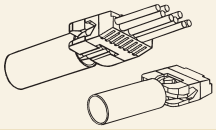
3. ケーブルの撚りを戻してディバイダーの溝にセットします。



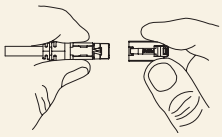
4. ロードバーにセットします。



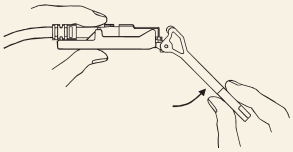
5. ロードバーとディバイダーがぴったりくっつくまで押し込み、ケーブルの余長をカットします。



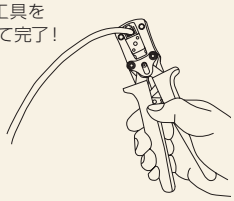
6. カラーを引き上げ、ハウジングに押し込みます。



7. 単線ケーブルの場合は、CSPT工具を使うと簡単に押し込むことができます。

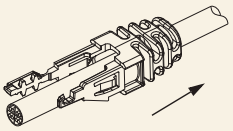


8. MPT5-8AS工具を使ってかしめて完了！

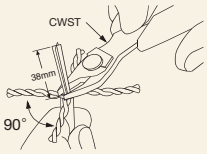


SP688E　成端方法

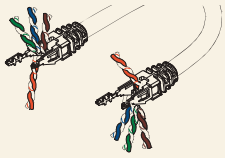
1. ブーツ一体型カラーをケーブルに挿入します。



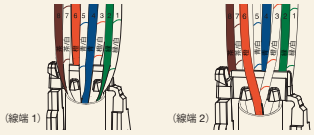
2. ワイヤーストリッパーを使って、ケーブルの端から38mmほど外被覆を剥きます。



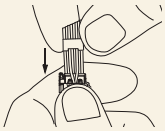
3. ケーブルの両端で構造が異なるため、注意して位置合わせをします。



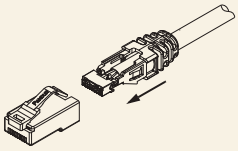
4. ディバイダーが、各ペア線のできる限り根本付近にあることを確認し、ディバイダーの所まで、各ペアの撚りを戻します。



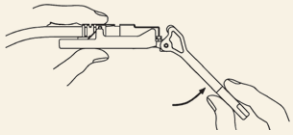
5. ディバイダーとの隙間ができる限りできないようにロードバーをしっかりと挿入し、ロードバーの先端で余分な導線をカットします。



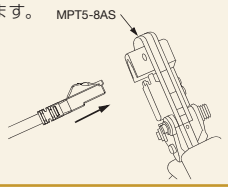
6. カラーの向きを確認して、可能なところまでハウジングを挿入します。



7. 補助工具CSPTを使用して、ラッチするまでブーツごとストレインリリーフカラーを挿入します。

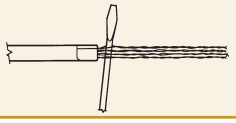


8. 圧着工具MPT5-8ASを使用して一括圧接します。

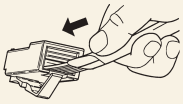


MP588　成端方法

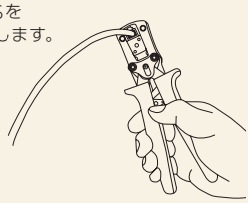
1. ケーブル外皮を35mmほど剥き、各ペアの撚り戻しをまっすぐ伸ばします。そして、T568AまたはT568Bの色配列に従ってケーブルを並べます。



2. ケーブルをプラグに挿入します。プラグのツメを下側にして、プラグ内部の溝にケーブルを滑らせるようにすると、施工しやすくなります。



3. MPT5-8ASを使って圧接します。



各成端方法の詳細は、当社ホームページをご覧ください